第 352 号
平成20年（2008年）4月1日

関西大学通信
THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

関西大学広報委員会
〒564-8680
大阪府吹田市山手町 3－3－35
TEL 06-6368-1121（代表）
http://www.kansai-u.ac.jp/

新入生を迎えて
――全学共通科目とGPA制度

関西大学学長　河田　悌一

西暦2008年（平成20年）４月１日、関西大学の一員になられた新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

29,000人を数える学部・大学院生、2,500人の教職員、さらに約31万人の校友を代表して、私は今日から私たちの仲間になった新入生のみなさんを、心から歓迎いたします。

みなさんは、受験というある意味で冬の季節を終えて、桜の花の咲き誇る今日のこの日、122年の歴史と伝統をもつこの関西大学に、大いなる期待と感動をもって、入ってこられました。ぜひ今日のこの気持ち、初心を忘れることなく、４年間の大学生活を送ってくださることを、希望いたします。

唐の詩人の李白（701～762年）は、こうした気持ちを、次のように詠(うた)っています。

寒雪梅中に尽き、春風柳上に帰る。
（寒雪梅中尽、春風柳上帰）

すなわち、春夏秋冬という一年四季の時間のサイクルが一巡し、冷たい冬の雪が梅の花のなかに消え去りいくと、暖かな春風が柳の木のうえに吹き、希望に溢れる新たな芽生えの季節が回帰してきた――というのです。

新入生のみなさんは「グローバル化と格差と改革」という、三つの言葉に象徴される21世紀初頭に、この大学に入学されました。関西大学は、グローバル化が進展するなかで優れた教育、研究、社会貢献を実現するという大学の三つの使命を果たすため、改革をおこなっています。昨年度は、四つの学部が改組・新設されて、十学部体制になりました。

本年４月からは、新入生諸君の「学びを充実する」ために、二つの大きな改革を行います。第一の改革は、従来の教養科目・保健体育科目などを、A、B、C、Kの四つの科目群からなる「全学共通科目」に、一新いたします。

A群は「高校生」から「社会人」への成長をうながす「自己形成科目群」。B群は、しっかり勉強をしてなりたい自分に向けて能力を磨き自らを高めていく「エンパワメント科目群」。C群は、学部の枠を越えて他分野のことを幅広く学ぶ「オープンスタディ科目群」。さらにK群は、関西大学の学生としての自覚を身につけ関大にアイデンティティをもつための「関大科目群」――この四つの科目群への改革であります。

第二の改革は、学生諸君の成績をこれまで以上に厳密に評価するため、５段階の成績評価を行うGPA制度を導入いたします（カリキュラム改革中の法学部は次年度以降導入予定）。

これらの二つの改革は、①関西大学の教育の質を向上させるため、②学生諸君に教育によって付加価値をつけるために、実施するものです。

新入生のみなさんは、ぜひ今日から「親離れ」をして、一人の精神的に自立した人として、大学生活を送ってください。関西大学における４年間の大学生活のなかで迷い、失敗をしながら、それを克服しつつ一歩一歩、人間的に成長していって欲しい、とおもいます。

ドイツの哲人、ゲーテ（1749～1832年）は、のべています。「日々は迷いと失敗の連続だが、時間を積み重ねることが、成果と成功をもたらす」と。

HEADLINE

2面 理工系3学部開設・工学部創立50周年記念式典を開催
関西大学工学部は、昨年度、新たに理工系3学部に再編され、大きく生まれ変わった。3学部開設と工学部創立50周年を記念し、記念式典を開催する。

4・5面 キャンパスライフ一問一答
新入生のみなさんが、スムーズに学生生活が送れるよう履修、奨学金、就職、留学、健康管理、資格取得などキャンパスライフに関するさまざまな質問に答える。
特集

7面 新入生歓迎特別行事
4月は新入生オリエンテーション期間を設け、さまざまな歓迎行事が開催される。各学部が、新入生のために準備した催しを紹介するので、積極的に参加してほしい。

❷面…大学人事
❸面…新任教員紹介
❻面…文化フェスティバルを開催
❽面…特集「関大生のタイムスケジュール」

千里眼

日本の食糧は世界的に注目されている。広い広い海、豊富な魚たち、日本だけが収穫できる畑ではなかった。日本の食糧自給率は四十％以下。収穫を格段に増やせる栽培方法も開発中とか▼パソナの南部氏（客員教授、工学部卒業生）の講演があり、都心のビルの地下で農業をし、都会では発揮する場所のない持て余している力を農業へ向けたいとのこと。一石何鳥かの効果がありそうだ▼地球は新しい事態に直面している。前向きに進む方法がきっとあるはず。過去の知識の中に無い何かが必要である。新しいことを創造する力は大切である▼方位磁石をもらったアインシュタインが、子供の頃「針はなぜ北を向くの、なんで、なんで」とまわりの人に聞きまくったとのこと。大人たちは「針は北を向くものだ」との知識で納得していた。最近、理解していることと、知っていることの区別があやしい若者によく出会う▼若いときに覚えたことは忘れないので、語学も今のうちに修得しておくべきである。今の時間は、将来の何十倍もの時間に匹敵する。学生時代ほど自由な時間を持てる時期はもう無い。時々「一石のなんで」を思い出してほしい。

（飯田　幸雄）

理工系3学部開設・工学部創立50周年記念祝賀行事を開催

関西大学工学部は、昭和三十三年の創立以来、学界・官界・産業界に幾多の有為な人材を輩出してきたが、五十周年を前に昨年度、二十一世紀にふさわしい理工学の教育と研究体制を整えるため、新たに理工系三学部（システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部）に再編し、大きく生まれ変わった。

このたび、関西大学に理工系三学部が開設されたこと、工学部が創立五十周年を迎えたことを記念し、千里山キャンパスで記念式典を開催する。

（1）日時　5月17日(土)13：30から
（2）場所　関西大学千里山キャンパス
第2学舎4号館BIGホール100
（3）内容
<第1部>　記念式典
13：30　開会の辞　土戸　哲明　化学生命工学部長
挨　拶　森本靖一郎　理事長
河田　悌一　学長
<第2部>　祝賀特別企画
14：30　記念講演　「21世紀を担うモノづくり」
大坪　文雄氏(松下電器産業株式会社代表取締役社長・客員教授・校友)
15：35　パネルディスカッション「21世紀の日本を担う人材～技術立国を支える人材育成～」
コーディネーター
楠見　晴重　環境都市工学部長
パネリスト
大坪　文雄氏(松下電器産業株式会社代表取締役社長・客員教授・校友)
和坂　貞雄氏(新エネルギー・産業技術総合開発機構理事)
越智　光一　副学長・化学生命工学部教授
鈴木　直　システム理工学部教授
白石　真澄　政策創造学部教授
網　健行さん（大学院博士課程後期課程学生）
土屋　博美さん（大学院博士課程前期課程学生）
小泉　昌広さん（学部学生）
閉会の辞　小澤　守　システム理工学部長

学部・大学院の新体制スタート

法学部

法学部では、従来の法律学・政治学全体をカバーする基礎知識と複眼的な思考能力の養成を目的とする。

商学部

商学部では、従来五コース制であったカリキュラムを全面的に変革し、流通専修、ファイナンス専修、国際ビジネス専修、マネジメント専修、会計専修の五専修制へと移行した。新カリキュラムでは、一、二年次において商学の基礎を学習する。上位年次においては、少人数制のゼミナールを核とした専門的な学習に特化し、将来のキャリアに直結した実践的な科目群を用意している。

大学院心理学研究科を新設

文学部の心理学と社会学部の心理学を大学院レベルで統合した、新たな独立研究科である心理学研究科を開設した。同研究科は、博士課程前期課程の認知・発達心理学および社会心理学の二専攻並びに博士課程後期課程の心理学専攻から構成され、心理学におけるほとんどの領域を研究分野としている。さらに、臨床心理に関する高度専門職業人養成のための新たな専攻の設置を構想している。

大学院社会学研究科産業社会学専攻が名称変更

社会学研究科産業社会学専攻を社会システムデザイン専攻に名称変更した。研究対象の産業社会―企業、組織、労働、技術などを含むが大きく変貌し、それぞれの学問の研究方法も大きく進歩した。こうした学問対象および学問方法の進展に応じて、現在のファカルティメンバーの実態によりふさわしく、新しい社会科学の方法を確立することを目標に、社会システムデザイン専攻として新たにスタートを切った。

文学部でカレッジリンク開始

文学部では、平成十八年度から、財団法人社会開発研究センター（村田裕之理事長・本学客員教授）と株式会社アンクラージュ（小中村政廣代表取締役社長）と協定を結び、日本初の試みであるカレッジリンク型研究センター（村田裕之理事長・本学客員教授）と株式会社アンクラージュ（小中村政廣代表取締役社長）と協定を結び、日本初の試みであるカレッジリンク型シニア住宅設立の準備を整えてきたが、平成二十年度から本格的な受け入れを開始する。受け入れは、シニア住宅「アンクラージュ御影」の入居者を聴講生や科目等履修生、あるいは正規学生として受け入れる形で行う。また、入居希望者を対象とする毎月一回程度の特別講座や、「アンクラージュ御影」における講演会等のオン・コミュニティプログラムも随時実施する予定である。「アンクラージュ御影」は三月末に竣工、入居者受け入れは六月末から始まる予定である。その後、入居者が増えるに従って文学部への受け入れ人数も随時増えてゆく見込みであり、世代を超えた自由な学びの空間の創造に向けて大きな期待が寄せられている。

（文学部）

新役職者紹介

人権問題研究室長
石元　清英

高い識見と豊かな経験

人権問題研究での石元清英社会学部教授の出発点は部落問題であり、農村被差別部落の実証的研究で博士の学位を得た。例えば農地改革期の部落についての通説的誤解をただす等の業績をあげた。その後女性差別問題にも深く関わり、同性愛者の人権についても識見があり、人権問題研究室でもジェンダー関係の中心になってきた。また、本学セクハラ防止委員会の創設期から委員長をつとめた。多様な学生の相談経験も豊かである。人権問題研究室のまとめ役は一つの差別問題に精通するだけでは困難なこともあるので、次期室長として好適の人である。日本映画や歌舞伎にもくわしいことは、その幅広い教養の一端である。人権問題研究室の新段階を拓くことが期待される。

大学人事

新しく大学の役職者が決まり、四月一日付で次のとおり発令された。

学生センター所長　商学部教授　笹倉　淳史
インフォメーションテクノロジーセンター所長　社会学部教授　東村　高良（再任）
人権問題研究室長　社会学部教授　石元　清英
▼政策創造学部　副学部長　教授　奥　和義
▼社会学部　教授　間淵　領吾
▼政策創造学部　准教授　三枝憲太郎
▼法学部　准教授　永田　憲史
▼文学部　教授　ローベルト・F・ヴィットカンプ
〃　増田　周子
〃　三村　尚彦
〃　准教授　笹川　慶子
〃　豊田　真穂
▼経済学部　教授　春日　秀文
〃　中澤　信彦
〃　北波　道子
〃　准教授　老川　典夫
〃　大矢　裕一
〃　宮田　隆志
〃　松村　吉信
▼化学生命工学部　准教授　島田　広昭
〃　原　直也
▼環境都市工学部　准教授　増田　裕
〃　徳丸　正孝
〃　中村　和広

◇

四月一日付で次のとおり昇任の発令があった。

▼法学部　准教授　永田　憲史
▼文学部　教授　ローベルト・F・ヴィットカンプ
▼システム理工学部　准教授　徳丸　正孝
〃　中村　和広
▼環境都市工学部　准教授　島田　広昭
〃　原　直也
▼化学生命工学部　教授　老川　典夫
〃　大矢　裕一
〃　宮田　隆志
〃　松村　吉信
▼社会学部　教授　間淵　領吾
▼政策創造学部　准教授　三枝憲太郎
▼法学部　准教授　永田　憲史
▼文学部　教授　ローベルト・F・ヴィットカンプ
〃　増田　周子
〃　三村　尚彦
〃　准教授　笹川　慶子
〃　豊田　真穂
▼経済学部　教授　春日　秀文
〃　中澤　信彦
〃　北波　道子
〃　准教授　老川　典夫
〃　大矢　裕一
〃　宮田　隆志
〃　松村　吉信

受賞

○人体科学会
◆湯浅泰雄賞（実践研究部門）（第一回）
文学部教授　伴　義孝
（平成十九年十二月十六日）
○土木学会景観・デザイン委員会
◆土木学会デザイン賞二〇〇七　優秀賞
「アルカディア21住宅街区（兵庫県三田市）」「キャナルタウン兵庫（神戸市）」
環境都市工学部教授　江川　直樹
（平成二十年一月二十八日）

関西大学北陽高校　誕生

募集人員二百八十人を大幅に上回る、総勢四百九十二人の関大北陽第一期生が、四月六日（日）の入学式を待ち望んでいる。

新入生を迎え入れるため、そして、在校生には関大北陽生としてよりよい環境で勉学に励んでもらうため、校舎内外を大幅にリニューアルし、きれいな教室、新しい机、一新された食堂などを用意している。

関大北陽には、大学だけでなく生徒を送り出していただいた中学校などからも、熱い視線が注がれている。その期待に応えるべく、教職員も万全の準備を整えている。

新入生には入学後すぐに、二泊三日の宿泊研修を実施。郡上高原（岐阜県）において、関大北陽生として自覚をもち、今後の高校生活を謳歌するための日々の過ごし方などについてガイダンスを行う。勉強に、一人ひとりが夢中になり、〝燃える〟ことのできる何かをぜひ見つけてもらいたい。そして、新たな歴史を刻んでいってほしい。

なお、四月一日をもって、学校法人福武学園との法人合併手続きが完了する。

（総合企画室）

平成20年度　客員教授

本学では、学術研究および教育水準の向上を図るために、次の三十九人を平成二十年度客員教授として委嘱した。

富士通株式会社　代表取締役会長　秋草　直之
株式会社プロパティビティジャパン　最高顧問　小松陽一郎
元住友電気工業株式会社　副社長　伊藤進一郎
東大寺第219世別当　上野　道善
前大阪府知事　太田　房江
前商工組合中央金庫　副理事長　大武健一郎
松下電器産業株式会社　代表取締役社長　大坪　文雄
ネットライフ企画株式会社　最高顧問・元税務大学校主任教授　大西　又裕
株式会社三井住友銀行　頭取　奥　正之
杏林大学　教授　金田一秀穂
経済産業省　近畿経済産業局長　久貝　卓
ファッションデザイナー　小篠　弘子
サッカージャーナリスト　後藤　健生
小松法律特許事務所　所長・立命館大学法科大学院（特別契約）教授　樋渡　啓祐
京都大学　名誉教授・神戸学院大学　教授　小松陽一郎
大阪大学　名誉教授　藤田　正憲
財団法人ファジィシステム研究所　客員研究員　福島　邦彦
佐賀県武雄市長　平松　守彦
元大分県知事　平松　守彦
NPO法人大分一村一品国際交流推進協会　理事長・ミズーリ・カンザス・シティ大学　教授　マーク・パリー
大阪高等検察庁検事・神戸大学法科大学院　教授　松田　成
ちひろ美術館・東京　副館長　松本由理子
京都大学大学院　教授　佐藤　忠信
財団法人日本証券経済研究所　顧問　関　要
慶應義塾大学　教授　竹中　平蔵
作家　辻原　登
辻本法律特許事務所　所長　辻本　一義
JT生命誌研究館　館長　中村　桂子
大阪大学大学院　教授　鳴海　邦碩
福井県知事　西川　一誠
日本郵政株式会社　取締役兼代表執行役社長　西川　善文
特任教授　村田　裕之
経済産業省　近畿経済産業局総務企画部長　山田　宗範
映画監督　山田　洋次
締役社長　西村　嘉郎
株式会社オービック　代表取締役会長兼社長　野田　順弘
武田薬品工業株式会社　代表取締役社長　長谷川閑史
社会福祉法人大阪ボランティア協会　常務理事　早瀬　昇
宮口定雄税理士事務所　所長　宮口　定雄
財団法人社会開発研究センター　理事長・東北大学　竹内　一誠
日本郵政株式会社　取締役兼代表執行役社長　西川　善文
朝日放送株式会社　代表取締役社長　村田　裕之
株式会社オービック　代表取締役会長兼社長　野田　順弘
武田薬品工業株式会社　代表取締役社長　長谷川閑史
社会福祉法人大阪ボランティア協会　常務理事　早瀬　昇

訃報

丸山　三友（まるやま・みつとも＝名誉教授・元文学部教授）平成二十年三月十五日死去。七十九歳。昭和二十八年大阪大学文学部独文学科卒業。三十二年四月本学着任。平成十一年三月定年退職。同年四月名誉教授。専門はドイツ文学。

新任職員

理事長付　柴田洸一郎
総務局付　奥田　恵造
〃　畑　勝美
総務課　伊東　悦子
〃　末川　裕嗣
北陽事務室　澤田　渉
〃　中向登美子
〃　新納　弘治
〃　花木千鶴子
〃　吉田　照美
社会連携センター事務室　八尾　聡美
〃　横山　隆太
教務センター　秋田　愛
〃　足立　智絵
〃　木下　賢治
〃　小久保好恵
〃　神宮司健太
〃　竹綱　美和
〃　竹中　喜一
〃　野村　健太
入試課　井上　朋子
大学院入試課　アドミッション・オフィス　酒井　裕美
入試広報課　中田　裕己
高大連携事務室　柴田　優人
学生生活課　木村　桂子
〃　吉田　悠平
スポーツ振興課　板井　征人
〃　原田　洵志
キャリアセンター事務室　工藤　亮
〃　松村　久基

新任教員紹介

法学部

教授　浦東　久男
昭和六十二年京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得後退学。姫路獨協大学大学院教授を経て本学に着任。専攻は税法・国際税法で、所得課税を中心に研究している。

教授　高作　正博
平成八年上智大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位修得後退学。琉球大学大学院准教授を経て本学に着任。専攻は憲法学で、特に「権利」概念に強い関心がある。

准教授　坂本　治也
平成十七年大阪大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得後退学。琉球大学准教授を経て本学に着任。専攻は政治学で、現代民主政における市民社会の分析を進めている。

准教授　寺川　永
平成十四年一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得後退学。大阪府立大学准教授を経て本学に着任。専攻は民事法で、複合的契約における諸問題を研究している。

准教授　山名　美加
平成十一年大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）。財団法人国際高等研究所研究員、大阪工業大学大学院准教授を経て本学に着任。専攻は知的財産法。

専任講師　水野　吉章
平成二十年北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了後、本学に着任。専攻は民事法で、特に日本の特別法の解釈における民法理論の役割について研究を進めている。

准教授　小澤　自然
東京大学大学院総合文化研究科修士課程、英国エセックス大学博士課程修了。文学博士。千葉大学文学部准教授を経て本学に着任。専門はポストコロニアル研究。翻訳書多数。

准教授　多賀　太
平成八年九州大学大学院教育学研究科博士課程所定単位修得。平成十一年博士（教育学）。九州大学助手、久留米大学専任講師、准教授を経て本学に着任。専門は教育社会学、男性学研究。

准教授　広瀬　義徳
平成十一年筑波大学大学院教育学研究科博士課程所定単位取得。松本短期大学専任講師、助教授を経て本学に着任。専門は教育行政学、外国人教育公務員研究。

准教授　村川　治彦
東京大学文学部宗教学宗教史学科卒（統合学博士）。平和に貢献する臨床心理学で世界に数少ない先駆者を継ぐ旗手でもある。村川式インタビュー法の開発者。身体文化論。

准教授　リコ・ヨコヤマ　アドリアナ
パリ社会科学高等研究院専門研究課程（DEA）修了。大阪大学外国人教師を経て本学に着任。専門は日仏比較文化論。コロンビアはボゴダ生まれのパリ育ち。日本語も達者である。

助教　菅村　玄二
早稲田大学人間科学部卒業。ノーステキサス大学心理学部学術研究員などを経て、早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。専門は臨床心理学、身体心理学。

文学部

教授　乾　善彦
大阪市立大学大学院博士後期課程単位取得退学。大阪女子大（旧大阪女子大）教授を経て本学に着任。博士（文学）。専門は、日本語の書記史、特に漢字による書記の研究。

教授　野口メアリー
昭和四十九年ウィスコンシン州立大学大学院東アジア言語・文学研究科修士課程修了。五十二年本学大学命館大学法学部教授を経て本学に着任。専攻は日英語比較、バイリンガリズム。

経済学部

教授　佐々木保幸
平成五年本学大学院商学研究科博士課程後期課程単位修得退学。大阪商業大学を経て本学に着任。専門は流通経済論、流通政策論。研究テーマは日本とフランスの流通機構。

教授　新熊　隆嘉
京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。京都大学博士（人間・環境学）。東京外国語大学外国語学部准教授を経て着任。専門は環境経済学。研究テーマは環境政策の制度分析。

准教授　後藤　健太
京都大学大学院修了。博士（地域研究）。伊藤忠商事、国連開発計画、国際労働機関、立命館アジア太平洋大学准教授を経て本学に着任。専門は東南アジアの経済発展。

准教授　鈴木　智也
オーストラリア国立大学大学院修了。経済学博士（Ph.D.）。グリフィス大学ゴールドコースト校、龍谷大学を経て、本学に着任。専門はマクロ経済学および応用経済学。

准教授　敦賀　貴之
オハイオ州立大学経済学部博士課程修了。経済学博士。日本銀行金融研究所エコノミストを経て、本学に着任。専門はマクロ経済学。研究テーマはインフレ、物価の粘着性。

商学部

准教授　木村　麻子
関西学院大学商学研究科博士課程後期課程単位修得退学。博士（商学）。九州産業大学商学部講師、准教授を経て着任。経営分析論、情報会計論等を担当。

准教授　西村　成弘
京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。京都大学博士（経済学）。日本学術振興会特別研究員を経て本学に着任。専門は経営史。ビジネスの進化と知的財産の関係を研究。

専任講師　岩本　明憲
慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。専門は経営学。専門はマーケティング論、流通論、ビジネス・エコノミクス。研究テーマは垂直統合の経済学的分析とその理論・学説史研究。

社会学部

教授　石田　陽彦
本学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了後、京都府立医科大学精神科研修員を経て地域臨床に当たる。本学大学院非常勤講師などを経て本学着任。専門は地域教育臨床心理学。現奈良県臨床心理士会会長。

教授　岡田　弘司
本学大学院社会学研究科博士課程前期課程を修了後、新淡路病院、大阪医科大学応用医学講座神経精神医学教室を経て着任。専門は臨床心理学、心理的援助の実践に関する研究。

教授　加納　恵子
大阪市生まれ。大阪市立大学大学院博士後期課程を修了。地域福祉の理論とその職業としての実践であるコミュニティ・ワークを中心に、ジェンダーや障害論と広がりのある研究を進めてきた。

教授　安田　雪
国際基督教大学教養学部卒業。コロンビア大学大学院修士課程修了。Ph.D.（社会学）。東京大学大学院経済学研究科特任准教授などを経て着任。専門は社会学。社会ネットワーク分析、組織論など。

政策創造学部

教授　足立　幸男
京都大学大学院法学研究科博士課程修了。京都大学大学院人間・環境学研究科教授を経て本学に着任。専門は公共政策論・政治哲学。日本公共政策学会会長、日本学術会議連携会員などを歴任。

准教授　河﨑　信樹
京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士（経済学）。日本学術振興会特別研究員、大阪経済大学日本経済史研究所PDを経て本学に着任。専門はアメリカの対外経済政策。

理工学部

准教授　谷　弘詞
広島大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程前期課程修了。博士（工学）。大分大学准教授を経て本学に着任。専門は情報工学。

助教　山口聡一朗
京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻博士課程後期課程修了。博士（理学）。核融合科学研究所科研究員を経て本学に着任。専門はプラズマ物理学。

准教授　三好　誠司
京都大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程および金沢大学大学院自然科学研究科システム科学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。神戸市立工業高等専門学校教授を経て本学に着任。専門は情報統計力学。

助教　鈴木　昌人
広島大学大学院先端物質科学研究科半導体集積科学専攻博士課程後期課程修了。博士（工学）。広島大学半導体バイオ融合集積化技術の融合プロジェクト研究員を経て本学へ着任。専門は半導体工学、マクロデバイス。

助教　花田　良子
同志社大学大学院知識工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。独立行政法人日本学術振興会特別研究員を経て本学に着任。専門は最適化、並列処理。

助教　古城　直道
東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻博士課程修了。工学博士。大分大学准教授を経て本学に着任。専門は情報工学。

助教　山口聡一朗
京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻博士課程後期課程修了。博士（理学）。東京大学大学院産学官連携研究員を経て本学に着任。専門は錯体化学。

助教　山縣　雅紀
慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻博士課程修了。博士（工学）。京都大学大学院エネルギー科学研究科産学官連携研究員を経て本学に着任。専門は電気化学。

工化学生命部

教授　平野　義明
大阪工業大学大学院工学研究科応用化学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。大阪工業大学准教授を経て本学に着任。専門は生体材料・ペプチド化学。

助教　中井美早紀
奈良女子大学大学院人間文化研究科共生自然科学専攻博士後期課程修了。博士（工学）。東京大学大学院工学系研究科協力研究員を経て本学に着任。専門は超精密・超微細加工学。

教授　奥田　隆一
昭和五十四年神戸市外国語大学大学院修了。博士（学）。大阪工業大学准教授を経て本学に着任。専門は生体材料・ペプチド化学。

外国語教育研究機構

教授　由喜門眞治
神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程所定単位修得後退学。札幌学院大学助教授から教授を経て、前職は京都産業大学（法科大学院）教授。専門は行政法。

助教　山縣　雅紀
慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程後期課程修了。博士（工学）。大阪学院大学専任講師から教授を経て、前職は京都産業大学（法科大学院）教授。専門は民法。

教授　下村　正明
大阪大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。博士（法学）。専門は言語学。言語研究が専門で辞書編纂のプロである。英語教育にも造詣が深く、大学をはじめ中学・高校の英語教育の指導的存在でもある。

法科大学院

准教授　谷口　功一
ロンドン大学ゴールドスミス校修士課程修了、東京大学大学院学際情報学府博士課程単位修得退学。京都精華大学人文学部専任講師を経て本学に着任。専門はメディア・リテラシーなど。

助教　脇田　貴文
南山大学文学部卒業後、名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程退学。京都大学大学院医学研究科研究員を経て本学に着任。専門は機械工学（ナノトライボロジー）。

助教　山口聡一朗
京都大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程後期課程修了。博士（理学）。核融合科学研究所研究員を経て本学に着任。専門はプラズマ物理学。

助教　中井美早紀
奈良女子大学大学院人間文化研究科共生自然科学専攻博士後期課程満期退学。博士（工学）。東京大学大学院工学系研究科協力研究員を経て本学に着任。専門は超精密・超微細加工学。

大学トピックス

●GPA制度を実施

本学は二〇〇八年度入学生から、学生個々人の授業に対する習熟度を測ることにより、学習状況を正確に把握し、効果的な知識修得のための学習指導に役立てることを目的にGPA（Grade Point Average）制度を全学的に導入する（カリキュラム改革中の法学部は次年度以降導入予定）。これに伴い、新たに「秀」の評価を加え、成績表示を五段階として発表する。Grade Pointはそれぞれ、秀＝四・〇、優＝三・〇、良＝二・〇、可＝一・〇、不可／不受験＝〇として算出し、GPAを成績発表票等に表示する。

●学生証のICカード化を実施

本学では二〇〇八年度から、学生証をICカード（Felica）化し、入館管理、パソコン教室や情報端末のログイン、図書館での貸出・返却、健康管理、出席管理などに用いる。将来的には、証明書自動発行、電子マネーなどといった多様な利用法を検討していく。導入スケジュールとしては、四月に新入生、七月に在学生にICカードを配付する予定としている。

●グローバルCOE文化交渉学教育研究拠点が北京外国語大学中国海外漢学研究センターと学術交流協定を締結

グローバルCOE文化交渉学教育研究拠点（ICIS）は、二月十五日、北京外国語大学中国海外漢学研究センターと学術交流協定を締結した。この協定では、文化交渉学に関するさまざまなプログラムを協力して推進するとともに、北京外国語大学内に同拠点の連絡所を設置することなどを確認。北京外国語大学（北京市）で行われた調印式には、本学から河田悌一学長、陶德民拠点リーダー、カイト由利子国際交流センター所長が出席したのをはじめ、来賓として出席した本学名誉博士の湯一介北京大学教授など約五十人が参加した。

キャンパスライフ一問一答

Campus Life Q&A

新入生のみなさんが、スムーズに学生生活が送れるよう履修、奨学金、就職、留学、健康管理、資格取得などキャンパスライフに関するさまざまな質問に答えます。

Q 奨学金を受給したいときはどうしたらいいですか？

A　さまざまな奨学金制度があり、種類によって募集時期が異なります。各奨学金の募集時期については、学生センターウェブサイト（http://www.kansai-u.ac.jp/gakusei/index.html）にスケジュールを掲載しています。また、詳細については、同サイト、インフォメーションシステム、学内各所の掲示板を利用して、願書交付の概ね2カ月前にお知らせしています。希望する奨学金の募集時期には十分注意して、指定期間中に学生生活課または高槻キャンパスオフィスで願書交付を受け、出願してください。

学生生活課

Q 一時的にお金が必要になりました。相談にのってもらえますか？

A　家庭からの仕送りの遅延や急病などのやむをえない理由で緊急にお金が必要になった場合、原則として３万円（場合によっては５万円）までを即日貸与する短期貸付金制度を設けています。学生証および印鑑を持参の上、学生生活課または高槻キャンパスオフィスまで相談に来てください。

学生生活課

Q アルバイトを紹介してもらえませんか？

A　学生生活における福利厚生の一環として、アルバイト求人情報の提供を行っています。このサービスでは、パソコンや携帯電話から関西大学の学生を対象とするアルバイト求人情報サイトを閲覧することができます。

本学では、アルバイトの職種に対して「制限職種」を定めており、これに基づく審査を経たアルバイトのみを求人情報として提供しています。学業や健康に支障がないように考慮し、労働条件等も十分に確認の上、アルバイトを選択するよう心掛けてください。

なお、アルバイトをする場合は、社会のルールを遵守し、関大生としての自覚をもって行動してください。

学生生活課

Q 体調を崩しました。学内で相談できるところはありますか？

A　千里山キャンパスでは新関西大学会館北棟４階にある保健管理センターで、病気やけがなどの際の保険診療または応急処置を行っており、高槻キャンパスでは保健室で病気やけがの応急処置を行っています。健康上の悩みがあれば、随時、健康相談も行っていますので気軽に来てください。

また、保健管理センター内にある心理相談室では、こころの専門家がカウンセリングや心理テストを行っています。悩みや不安なことがある場合には、心理相談室を訪ねてください。

保健管理センター

Q 落とし物はどこに届きますか？

A　落とし物は、最寄りの事務室（授業支援ステーション、総合図書館、中央体育館事務室、スポーツ振興課、学生生活課、ＩＴセンター、入試広報課、キャリアセンター等）に届けられ、そこで２週間保管されます。２週間以内に落とし主が現れない場合、その落とし物はすべて学生生活課に送られます。高槻キャンパスでは、高槻キャンパスオフィスが遺失物・拾得物の問い合わせ窓口となります。

最近、大学構内において忘れ物や落とし物をする人が増えています。できる限り自分の持ち物には、学籍番号・氏名を記入するようにしてください。

学生生活課

Q クラブやサークルには参加した方がいいのですか？

A　大学時代の思い出といえば、クラブやサークル、ボランティア活動など課外活動での出来事が中心になるのは、多くの卒業生に共通しています。課外活動では、コミュニケーション能力、リーダーシップ、多種多様な価値観の発見、そして活動を通じて得られる仲間など、これからの人生にとって欠かすことのできないものがたくさん得られます。４年間という貴重な時間を、課外活動に力を注ぐことにより、充実した学生生活が得られるとともに、きっと自分の人生にとってかけがえのない経験になることでしょう。

学生生活課

Q 慣れない新生活で不安がいっぱいです。まだ、相談できる友人もいません。どうしたらいいですか？

A　総合学生会館「メディアパーク 凜風館」１階にある学生生活課では、クラブ・サークル活動、アルバイト、悪徳商法・カルト宗教関係でのトラブル等、学生生活全般についてさまざまな相談に応じています。もし、相談したいことがあれば、一人で悩まずに気軽に学生生活課または高槻キャンパスオフィスに来てください。

また、内容に応じて、キャンパス内の他の窓口への紹介も行っています。

学生生活課

Q 就職に向けて今からできることはありますか？

A　就職活動の際の面接試験では、いかに充実した大学時代を過ごしたかがポイントになります。ですから、勉学、クラブ・サークル、ボランティア活動など、学生時代にしかできないことを計画立てて実行して、有意義な学生生活を送ってください。さらに１・２年次生対象の「キャリアプランニングセミナー」という行事に参加するなどして、早くから自分の進路について考えることも重要です。まずは、入学時に配付している『キャリアデザインブック』をよく読んでください。

キャリアセンター

Q ＩＴセンターを利用するために必要な手続きはありますか。

A　学生証と同時に配られる「利用者ＩＤ」と「パスワード」があれば、ＩＴセンターのパソコンやインフォメーションシステムを利用できます。

ただし、インターネットや電子メールを利用するには、「電子メール・学外Web利用申請」が必要です。この申請は、大学内のパソコンから行い、申請の翌日から有効になります。

また、パスワードを忘れた場合は、学生証を持って、ＩＴセンター４階の利用相談コーナーへ来てください。

ＩＴセンター

Q ＩＴセンターの開室時間や混雑状況を調べることはできますか。

A　ＩＴセンターのウェブサイトで確認することができます。携帯電話からでもアクセスできるので、通学途中などにチェックしてください。（http://www.ipcku.kansai-u.ac.jp/）

QRコード

ＩＴセンター

Q インターンシップとは何ですか？

A　インターンシップとは、学生が大学時代に、企業や自治体、学校などの社会現場において、実際の仕事を体験するものです。アルバイトとは違い、正社員としての仕事を体験するので、実習先企業の営業社員に同行したり、窓口対応を行ったりと、さまざまなことを経験します。

インターンシップにより、実際の仕事がどのようなものかを実感できるだけでなく、社会人と触れ合うことによって社会人のものの見方を知ることもでき、今後の進路選択において非常に役立ちます。ぜひ参加してください。

キャリアセンター

Q キャリアデザインとは何ですか？

A　一言で言えば、「将来設計」です。自分の性格、興味や適性について再認識し、卒業後の自分（自分の将来像）をイメージすること。そしてめざすべき未来をつかむため、なりたい自分になるための準備として、具体的なアプローチ方法を考え、実行していくことです。

大学時代に何を行うか、大学生活をいかに過ごすか、その内容によってみなさんの進路は大きく左右されます。さまざまなことにチャレンジし、自分の夢をつかんでください。

キャリアセンター

Q 証明書や学割証が欲しいのですが？

A　千里山キャンパス第２学舎１号館１階と高槻キャンパス総合情報学部オフィス横に証明書自動発行機が設置されており、即日発行することができます。自動発行機で発行できない証明書もありますので、不明な点などがあれば教務センター証明書担当窓口または総合情報学部オフィスまで来てください。

教務センター

Q 授業支援ステーションはどこにありますか？

A　千里山キャンパス内の各学舎に設置されており、どこの授業支援ステーションでも同じサービスを行っています。質問があれば、まず最寄りの授業支援ステーションに来てください。平常レポートの提出や資料の配付など、指定されたステーションでしか対応できないものもありますので留意してください。

教務センター

Q 高槻キャンパスにある2つのオフィスの違いは？

A　総合情報学部オフィスは、授業に関することや各種証明書の発行に関する業務等を行います。例えば、履修相談・登録、コンピュータの利用申請、学生証・在学証明書の発行を行う窓口となります。

高槻キャンパスオフィスは、学生生活全般に関する業務等を行います。例えば、奨学金、課外活動支援、遺失物・拾得物、出納の窓口となります。

高槻キャンパスオフィス

Q どんな時に、授業支援ステーションに行けばよいのですか？

A　演習授業などで使用する発表用の資料を印刷したい時、平常授業期間中のレポートの提出や受け取りをする時、履修や学期末試験を除く授業に関する軽易な相談事がある時などに来てください。その他、授業資料の配付、学内にて紛失した拾得物の受け渡し、インフォメーションシステムの操作方法の説明なども行っています。困ったこと、わからないことがあれば、気軽に訪ねてください。

教務センター

Q 住所が変わったのですが、どういう手続きが必要ですか？

A　異動届を提出する必要がありますので、教務センター学籍担当窓口まで来てください。総合情報学部については総合情報学部オフィスで手続きを行ってください。なお、氏名や通学区間等を変更する場合も同様の手続きが必要となります。

教務センター

Q 留学しても4年で卒業できますか？

A　大学の制度による留学期間中の場合には、在学となるので可能です。ただし、交換留学は出発の前年に選考があるので、３年次生以降で応募した場合、卒業時期が遅れる可能性があります。１年次生の早い時期から準備を始めましょう。

国際交流センター

Q 留学するには何から始めればよいですか。

A　4月23日（水）に留学ガイダンスがあり留学経験者の声も聞けます。国際交流センター発行の『留学ハンドブック』を見たり、国際交流センターウェブサイト（http://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/）でメールマガジン『CFIA news（シーフィア・ニュース）』に登録し最新情報を得ることも大切です。遠慮なく国際交流センターへ相談に来てください。

■耳寄り情報■

国際交流センターでは、本学学生を対象にTOEFL-ITPテストを年３回実施しています。英語圏は、このスコアで交換派遣留学に応募できる大学もあります。

国際交流センター

Q 高槻キャンパスでクラブ・サークル活動に参加できますか？

A　高槻キャンパスでは現在、クラブ・サークルをあわせて23団体が活動しています。４月には勧誘活動を兼ねたオリエンテーションが行われます。サークル活動を楽しもうと思う新入生のみなさんは参考にしてはどうでしょうか。もちろん、総合情報学部生が千里山キャンパスでのクラブ・サークル活動に参加することも可能です。

高槻キャンパスオフィス

Q 授業支援ＳＡ・ＡＳとは何ですか？

A　教育・授業の質的向上をめざして、日々の授業を支援するスタッフです。授業支援ＳＡ（スチューデント・アシスタント）は、授業時に使用するパソコンやプロジェクターなどの機器設置補助、出席票や資料の配付とその回収、授業風景の撮影、教材印刷などの業務を行っています。一方、授業支援ＡＳ（アドバイザリー・スタッフ）は教育工学などの専門知識を備えており、教員に対して支援策の提案を行ったり、授業支援ＳＡの業務支援等を行っています。

教務センター

Q カリキュラムや試験、成績について質問があるのですが？

A　教務センター（第２学舎１号館１階）の履修関係窓口または試験・成績関係窓口まで来てください。教務センターでは、修学上必要な諸手続や履修・成績に関する相談等について、全学部・全研究科共通の一元サービスを行っています。ただし、卒業要件をはじめ、カリキュラムや単位認定などの重要事項の多くは、入学時に配付した『HAND BOOK（大学要覧）』に記載していますので、まずはそちらを確認するように心掛けてください。また、高槻キャンパスは、総合情報学部オフィスが窓口となります。

教務センター

Q 教員をめざしています。いつ頃から何をはじめたらいいですか？

A　最初に所属学部・学科で取得可能な免許状・教科を確認してください。

教職課程は２年次生から本格的に履修していくことになり、年度末（３月末）には新２年次生対象の教職課程ガイダンスも行われますが、教員免許取得に必要な教養科目、体育、外国語科目および教職関係科目が１年次生にも配当されています。まずは新入生履修ガイダンスでの説明をよく聞き、計画的に履修を進めてください。不明な点などがあれば教務センター教職担当窓口または総合情報学部オフィスまで相談に来てください。

教務センター

Q 海外留学にはどのような方法がありますか？

A　本学では、協定大学の拡大と新たな留学プログラムの開発を進めており、みなさんの留学を全面的にサポートしています。

短期なら夏・春休み１カ月間の語学セミナーがお勧めです。ホームステイ等を通し、現地の文化や生活習慣を肌で感じることができます。

１学期または１年間の長期なら、交換留学、認定留学、特別留学があり、奨学金制度が利用できるものもあります。

短期、長期ともにすべてのプログラムで単位認定されます。また、新たなプログラムも検討中ですので、国際交流センターからのお知らせを確認するようにしてください。

国際交流センター

Q 資格の勉強は正課の授業と両立できるか心配です。両立できますか？

A　学生の資格取得をサポートするエクステンション・リードセンターでは、ほとんどの講座は18時以降に授業が始まるので、正課の５限目終了後でも十分間に合う時間帯になっています。しかも、どの講座も週２～３日のペースですし、試験期間中は授業がありませんので、そういう点でも無理なく勉強を続けることのできる環境が整っているといえます。また、情報処理講座や英語講座には夏休み中に開講している講座もあるので、普段は授業で忙しい人にはお勧めです。

■耳寄り情報■

『講座案内（パンフレット）』の４～５ページに、講座ガイダンスや相談会の一覧表が掲載されています。「この資格について詳しく聞きたい」「講座を受講するかどうか迷っている」など、気になることが少しでもあれば気軽に参加してください。みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

エクステンション・リードセンター

Q 授業に関する参考図書や文献資料はどうやって探したらいいですか？

A　関西大学シラバスシステムに参考書と指定されている資料の多くは図書館で所蔵しています。各シラバスの参考書欄の見出し下にある「**蔵書検索へ**」というリンクボタンをクリックすると図書館蔵書検索システムKOALAが起動しますので、「書名」や「著者名」から自分の探している資料が図書館のどこにあるかを検索してみてください。資料が見つからない場合でもあきらめないで、資料相談窓口である総合図書館１階レファレンスカウンターまたは高槻図書室のカウンターで聞いてみてください。スタッフが所蔵調査を行ったり、有益な関連資料を紹介します。

総合図書館

Q 学費を分納・延納したいのですが？

A　本学のホームページから「インフォメーションシステム」に進み、トップページの左サイドメニュー「申請・アンケート」から申し込んでください。

ただし、分納制度と延納制度を併用することはできません。

分納・延納の手続期間をそれぞれ設けているため、手続期間内に申し込んでください。手続期間や納入期日等については、インフォメーションシステムや学費納入用紙に同封の「学費の納入について（ご案内）」でお知らせしますので、確認してください。

出納課

スポーツ観戦で関大生を実感しよう！

学生センターでは、新入生の歓迎と学生スポーツ文化の振興および学内の活性化を目的として新入生歓迎イベント「関大スポーツを応援して関大生を実感しよう！」を、本学体育会の試合で開催しており、本年度は千里山キャンパスと高槻キャンパスでの同時開催を企画している。

千里山キャンパスでは体育会の中でも伝統と高い競技力があり、かつ学生にも人気があるアメリカンフットボール部による対追手門学院大学戦〈四月二日(水)十五時～、於千里山キャンパス中央グラウンド〉を、高槻キャンパスでは澤田亜紀さん(文二)をはじめとする学院大学戦〈四月二日(水)十五時三十分～、於高槻キャンパスアイススケート部による華麗な演技とアイスホッケー部による白熱の試合〈四月二日(水)十五時三十分～、於阪神甲子園球場〉を「伝統の関関戦をみんなで盛り上げよう！」として開催する。

また、体育会各部によるリーナ〉を開催するので、ふるって参加してほしい。

そのほかには、関西学生野球春季リーグ戦の関学戦〈五月三日(土・祝)、四日(日)十二時三十分～、於阪神甲子園球場〉を「伝統の関関戦をみんなで盛り上げよう！」として開催する。

また、体育会各部によるリーグ戦が四～六月にかけて開催されるので、ぜひ観戦し、声援を送ってほしい。

詳細は教務センター、各学舎オフィス等窓口に備え付けの日程表(チラシ)もしくはスポーツ振興課のウェブサイト(http://www.kansai-u.ac.jp/sports/)で。(スポーツ振興課)

文化フェスティバル～ようこそ！文化会の食卓へ～

開催期間　4月14日(月)～5月2日(金)

今年も恒例の「文化フェスティバル」が四月十四日(月)～五月二日(金)の期間中、昼休みの時間帯を中心に開催される。今年度は、Ⅰ部文化会とⅡ部文化会が統合して最初の文化フェスティバルということもあり、本学の文化芸術活動の担い手として、文化会のより一層の結束を図り、文化会内外に日常の活動成果をアピールすることを目的に繰り広げられる一大イベントである。今年は、「ようこそ！文化会の食卓へ」をテーマとしており、各部の個性をより多くの方に感じてもらいたい。

「悠久の庭」では、オープニングセレモニーをはじめさまざまなパフォーマンスが繰り広げられる。また、KUシンフォニーホールでの公演、凜風館を使用しての展示等、団体ごとに趣向を凝らした発表が行われる。

文化会全体の統一企画としては、文化会音楽系団体による合同演奏をはじめ、伝統芸能系団体による「和のコラボレーション」、文化・芸術系団体による合同展示、「B-1(ぶんわん)」と銘打つ団体間での対決企画、豪華商品が当たるキャンペーン等が開催される。

文化フェスティバルは、関西大学文化会総勢二十七団体が一丸となって開催する一大イベントなので、ぜひ足を運んでほしい。詳細に関しては、文化フェスティバル実行委員会(誠之館三号館新館一階文化会本部室)まで問い合わせのこと。

(学生生活課)

平成21年度 交換派遣留学生の春募集

本学学生交換協定大学のうち十一大学に一年間留学する学生を募集する。募集は春と秋の年二回実施しており、英語および中国語圏の大学は年二回応募することが可能である。

春募集および認定留学、特別留学、夏期海外語学セミナーに関するガイダンスを次のとおり実施する。

▼春期留学ガイダンス

日時：四月二十三日(水)十二時三十分～十四時三十分

場所(予定)：尚文館一階マルチメディアAV大教室(千里山、TD一〇六教室(高槻)同時中継

詳細は国際交流センターウェブサイト(http://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai)およびインフォメーションシステムにて通知する。

問い合わせは、国際交流センター事務室(☎06-6368-1174)まで。

(国際交流センター事務室)

＊**出願期間**
　4月1日(火)～6月27日(金)
＊**留学先**
　韓国、中国、台湾、メキシコ、エクアドル、オーストラリア
＊**選考方法**
語学試験(筆記・聴解・口頭)
　7月2日(水)
　※英語は口頭のみ
面接試験(日本語または受験語種)
　7月16日(水)
＊**奨学金**
　関西大学国際交流助成基金第1種奨学金(平成20年度交換派遣留学生は38人全員に支給予定)
　欧米、豪州、中南米の場合50万円
　アジア圏の場合30万円

人権問題の冊子を配付
『とても大切なことに関する24のメッセージ』

ひとが人間らしく生きるために大切なことって何だろう？　毎日の生活の中で、何気ないふるまいや言葉を通じて、誰かを傷つけたり、見下したりしていることはないだろうか。あるいは、自分でどうしたらいいのかわからないけれど、なんだかとてもつらいということはないだろうか。

人権問題というと、小難しくて堅苦しいイメージがあるかもしれない。けれどもこの冊子『とても大切なことに関する24のメッセージ』は、誰もが直面しそうな問題を「人権」という糸口からとらえなおすことをめざしている。巻頭企画のインタビューでは、本学OBの「山ちゃん」こと山里亮太さんがメンバーのお笑いコンビ、南海キャンディーズを迎えて、人を傷つけない「優しい笑い」について語ってもらった。ほかにも本学の先生書き下ろしのコラムでは、カップルのトラブルとして問題になる「デートレイプ」や、前回のサッカーW杯で注目を集めたジダン選手の頭突き事件にひそむ人種差別などについて論じられており、読み物として興味を持ってもらえるよう趣向を凝らしている。

これからの大学生活、私たちそれぞれが自分らしく生きるうえで、ここには有意義なヒントがちりばめられているはずだ。ぜひとも役立ててもらいたい。

(人権問題委員会委員長　岡田　朋之)

博物館春季企画展を開催
「天目　宙への誘い」

京都を代表する陶芸家木村盛康(きむら・もりやす)氏は、天目の第一人者であり、その作風を称して「盛康天目」と呼ばれている。このたび、関西大学博物館に対する氏の数々の作品の寄贈を機に、展示会を開催することとなった。天目とは、「天目釉」という鉄を含んだ釉薬(うわぐすり)を使った陶芸作品のことで、精魂を傾け造り出される氏の天目は、複雑にして深遠な輝色を発し、海外の美術館にも数多くの作品が永久保存されている。

木村盛康作
「京紫天目茶盌」

会期は、四月一日(火)から五月十八日(日)まで。博物館および学内各所で詳細を掲載したチラシを配布している。

問い合わせは、博物館事務室(☎06-6368-1171)まで。

(博物館事務室)

関西大学文化・学術活動等奨励金制度（業績部門）採択結果

課外活動や自主活動において、優れた実績を残した学生、または優れた企画を有する学生を評価し、奨励金をもって支援する「文化・学術活動等奨励金制度」の業績部門の審査が行われ、応募件数12件中９件が採択された。採択業績は、下記のとおりである。今後も学生諸君の多様な活動を期待している。

(学生生活課)

採択業績

- 土木学会平成19年度全国大会　第62回年次学術講演会優秀講演者表彰
- ハート交流館Ｅメイツ生活発表会　落語の実演指導
- 関西学生会学生員卒業研究発表講演会　Best Presentation Awards 受賞
- 春季関西学生法律討論会第３位、秋季関西学生法律討論会第１位、全日本学生法律討論会第４位
- ホノルル市長杯第37回全日本青少年英語弁論大会出場
- 富士電機「太陽電池の未来」研究作品コンテスト「佳作」受賞
- 児童養護施設における継続的学習支援活動
- ALL JAPAN DEBATE TOURNAMENT 準優勝
- 平成19年度全日本珠算選手権大会　読上算競技の部　優勝

KUBIC2008開催
一般の部を新設

今年で第三回を数える関西大学商学部主催の関西大学ビジネスプラン・コンペティション(KUBIC)が開催される。今年のキャッチフレーズは「アイデアは、意外なところに落ちている　拾ったらすぐKUBIC　ポイ捨て禁止」。全国の高校の部、大学の部に加えて、今年は一般の部が新設され、より幅広くビジネスプランを募る。

KUBICでは自由応募部門とテーマ部門の二つの部門を設けている。自由応募部門では自由な発想で考えられた独自のビジネスプランを募る。テーマ部門では協賛企業七社から計五十八テーマが提示されている。なお、今年から始まる一般の部はテーマ部門のみの募集。

応募期間は四月一日(火)から六月三十日(月)必着。優秀プランは十月四日(土)に開催される本選会でプレゼンテーションされ、各賞(大学の部優勝二十万円、高校の部優勝十万円、準優勝、入賞、企業賞、高校の部の学校賞)が決定される。詳細はウェブサイト(http://www.kubic-kandai.com/)を参照。

(商学部)

図書館の森

春季特別展「百珍(ひゃくちん)って何？—今に引き継ぐ江戸の食文化」

最近の人気テレビ番組の一つにグルメ番組がある。レストランを星で格付けした『ミシュランガイド東京２００８』の刊行はちょっとした社会現象となり話題となった。もっとも、日本人の「食」への関心の高さは昔からのことだ。格付といえば、江戸時代には相撲番付形式をそのままグルメ番付に見立てた一枚摺(ずり)がある。うまいもの番付、おかず番付、中でも料理茶屋の番付は特に多いが、本学には「浪花料理屋夢号附録」を所蔵している。

今回の展示では、食文化が開花した江戸後期にスポットを当て「百珍(ひゃくちん)って何？—今に引き継ぐ江戸の食文化」と題して、本学図書館に所蔵する江戸の食文化に関する資料を中心に紹介する。

グルメ本の幕開けは大阪発の豆腐料理

天下の台所と呼ばれた江戸時代の大坂で、読んで楽しい料理本が初めて出版された。その書物は、『豆腐百珍(とうふのひゃくちん)』(一七八一年)。「百珍」とは、「百の美食」の意味で、豆腐料理百品を紹介し巻末には和漢の典籍から集めた豆腐に関する記事を載せている。また、著者が本職の料理人ではなく遊び心のある文人であるところが人気の秘密で、当時のベストセラーとなり幕末に至るまで版を重ねた。

以後、食材も鯛、卵、芋、鱧、蒟蒻などが登場し、『鯛(たい)百珍(ひゃくちん)料理秘密箱』『甘藷(かんしょ)百珍』『海鰻(はも)百珍』『蒟蒻(こんにゃく)百珍』と百珍と名のつく本が次々と刊行され、百珍ものの大ブームとなる。また、文人との交流が深かった江戸の高級料理屋「八百膳」の店主が執筆した料理本『料理通』四編(一八二二―一八三五年)が発行され、日本料理の爛熟期を極めた。

今日、私たちが食している料理は、まさに江戸時代に発展を遂げた。都市で朝夕二回の食事が三回になったのも、江戸中期になってからのことだ。多彩な日本料理や屋台など味覚を満喫する日本の食文化の奥深さを目で楽しんでほしい。

会期：四月一日(火)～五月十八日(日)

会場：展示室(総合図書館一階)

(図書館)

新刊の扉

○文学部教授
宇佐美幸彦著
『ベルリン文学地図』
(平成二十年三月三十一日・関西大学出版部・定価四千二百円〈税込〉)

飛躍

○アイススケート部

スピード部門の藤本真夢さん(文二)が、第三十一回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(二月二十三日・二十四日、長野県)でジュニア枠(十九歳以下)で優勝した。

○重量挙部

秋原悠さん(文二)が、第二十八回全日本ジュニアウェイトリフティング選手権大会(三月八・九日、さいたま市記念総合体育館)男子七十七キロ級で、二位を獲得した。

高橋大輔さん(文四)が、世界フィギュアスケート選手権大会(三月十七日～二十三日、スウェーデン・イエテボリ)に出場し、フリーで一三九・七一点、SP八〇・四〇点との合計二二〇・一一点を獲得。惜しくもメダルを逃がしたが、四位となり、健闘を見せた。

豊かな経験活かして
新入生歓迎特別行事

関西大学に入学おめでとうございます。大学生として最初の第一歩を歩み始めるあなたに、私たちは新入生オリエンテーション期間を設け、ガイダンスとサポート、講演会やスポーツ観戦など、さまざまな歓迎行事を準備しています。大学生になって初心を固めるこの時期に、豊かな出会いを経験し、希望溢れる学生生活をスタートしてほしいからです。各学部が、あなたのために準備した催しを次に紹介しますので、積極的に参加してください。（副学長　芝井　敬司）

文学部
「いわさきちひろが教えてくれたこと」

いわさきちひろの絵は、忘れてしまっていた幼い日のたいせつな思い出をよみがえらせてくれる。花とたわむれる子供たち、長靴をはき、傘をさした雨の日の子供たち、大きな麦わら帽子をかぶって夏の海辺で遊ぶ子供たち。大人が大切に守らないと一瞬にして踏みにじられてしまう、ささやかな命の輝きを描くことによって、命の大切さを伝えている。ちひろの作品はどんな人生から生まれてきたのか、そこに込められた思いは何なのかなどを、作品や図像を映しながらたどってみたい。（以上、講師による講演概要）

講師の松本由理子氏は、いわさきちひろの没後、ちひろの長男松本猛氏とともに、ちひろ美術館建設に取り組み、近年は講演や執筆活動を通し、ちひろとちひろが絵に託した思いを語り続けている。ちひろ美術館・東京　副館長。

【日時】四月二日（水）十時～十一時三十分
【場所】千里山キャンパス　第一学舎一号館千里ホール
【講師】ちひろ美術館・東京　副館長　松本　由理子氏

法学部
「人権侵害に対する法的救済について」

基本的人権の尊重を謳う日本国憲法下にあって、今なお人権侵害事案は後を絶たない。価値観が多様化する現代社会においては、憲法が念頭においている公権力による人権侵害のみならず、民間における人権侵害も重大なものとなっている。さらに、民間における人権侵害の典型とも言うべき差別問題はますます複雑化している。こうした人権侵害について、被害者の法律による救済について検討する。

講師の康氏は、大阪市生野区生まれの在日朝鮮人二世で、平成十六年十月、大阪弁護士会に弁護士として登録。十七年一月、国籍を理由とした入居差別にあい、同年一月に提訴。十九年三月、家主と和解するも、同年十二月、大阪市に敗訴。現在控訴中である。

【日時】四月二日（水）十三時三十分～十五時
【場所】千里山キャンパス　第一学舎一号館千里ホール
【講師】大阪法律センター法律事務所　弁護士　康由美氏

商学部
キャリアデザイン序説　仕事に赴く若者たちに翼を！

商学部では新入生歓迎行事の一環として、熊沢誠氏を講師に招き、講演会を開催する。熊沢氏は長年にわたり、諸外国との対比の中で日本の経営、労働、労使関係の特質について研究を進めてきた。また、平成七年には研究会「職場の人権」を創設している。

今回は、社会人としての旅立ちを四年後に控えた新入生諸君に対し、企業に求められる働き方を見すえた上でキャリアデザインの必要性と可能性を考えるという視点から講演予定である。商学部では、キャリアセンターの協力の下、初年次教育の一環としてキャリアデザインに注力しており、この講演は、そうした取り組みの第一弾でもある。

能力主義や成果主義、企業社会や「会社人間」といった言葉をしばしば耳にする。今回の講演では、組織や集団における個人の自由や創造性のありかた、といった問題についても説き及ばれることとなろう。

【日時】四月一日（火）十六時～十七時
【場所】千里山キャンパス　第二学舎四号館ＢＩＧホール100
【講師】甲南大学名誉教授　熊沢　誠氏

経済学部
「すべての人が誇りを持って生きられる社会に」

「チャレンジド」、竹中ナミ氏（ナミねえ）は、さまざまなハンディキャップを持つ人のことをこう呼ぶ。そして、ＩＴを活用した「ユニバーサル社会の確立」と「チャレンジドを納税者に」を目標に、社会福祉法人プロップ・ステーションの理事長として活躍中である。

今年度の経済学部新入生には、ナミねえの元気な講演からスタートを切ってもらう。経済の中ですべての人が何らかの役割と誇りを持って活動できる社会をめざして活動を続けるナミねえの講演は、これから経済学を学ぼうとする新入生にとって非常に有意義なものになると期待している。

【日時】四月二日（水）十三時～十四時
【場所】千里山キャンパス　第二学舎四号館ＢＩＧホール100
【講師】社会福祉法人プロップ・ステーション　理事長　社会保障国民会議委員　竹中　ナミ氏

政策創造学部
「国際環境政策と私たち」

地球温暖化など環境問題は、時代を象徴するキーワードともなっている。今年日本で開催されるＧ８サミットの主要テーマの一つともなろう。しかし、グローバルな視点で地球環境を考え、語ろうとすればするほど世界の各地で「かけがえのない」生活をおくる一人ひとりの姿が見えにくくなり、ともすれば、それぞれの人びとが「人間としての不可欠の必要性」として抱える固有の問題が忘れられてしまいがちである。

人類的課題でもある地球環境政策は、未曾有の国際「格差」社会のなかで「私たち」が考え、実現していかなければならない。

かかるテーマに最適の講師を迎えることができた。

【日時】四月三日（木）十時三十分～十二時
【場所】千里山キャンパス　第一学舎五号館Ｅ四〇一教室
【講師】ＩＣＴＳＤ環境部門主任研究員　Ｍ・カマル・ゲイ氏

社会学部
「イヌイット研究と私」「現実の社会と心理学の接点」「落語と国際交流」「初の女性知事として」

昨年の社会学部創立40周年記念「Ｓｏｃｉｏｌｏｇｙ Ｎｅｘｔ　40プロジェクト」を今年も継続し、その一環として入学式終了後の新入生歓迎特別行事は、四専攻それぞれに各界で活躍している著名人を招いての講演を予定している。社会学専攻では、岸上伸啓氏（民族博物館教授）による「イヌイット研究と私」（三〇一教室）、心理学専攻では木下富雄氏（京都大学名誉教授）による「現実の社会と心理学の接点」（四三〇二教室）、マス・コミュニケーション学専攻では桂小春団治氏（落語家）による「落語と国際交流」（ソシオＡＶ大ホール）、そして社会システムデザイン専攻では本学大学院社会学研究科客員教授で前大阪府知事の太田房江氏による「初の女性知事として」（一〇一教室）のテーマでの講演を予定している。太田氏の講演については、新入生の父母のほか、一般市民の聴講も歓迎する。

【日時】四月一日（火）入学式終了後
【場所】千里山キャンパス　第三学舎各教室

総合情報学部
「物語を伝えるということ」体験的ノンフィクション論

人に会って話を聞き、それを原稿にする。新聞記者時代から二十年もそんな作業を生活の糧にしてきたが、ここ数年はその仕事をめぐる環境の変化を感じざるを得ない。

インターネットの普及により、さまざまなジャンルの情報がリアルタイムで流れるようになり、それまで一次情報を伝える媒体として存在してきた新聞も、追随するかたちでネットニュースに力を入れ始めている。

だが、テレビを含めた多くのメディアが速報性にからみとられるなか、私たちの手元に届けられる情報の多くは画一化されてしまった。

新聞記者時代からの仕事や一つのノンフィクション作品を書き上げるまでの経緯を振り返りながら、「書く」現場の変化、今の時代に伝えるべき情報、必要なジャーナリズムについて話したい。

【日時】四月二日（水）十三時～十四時三十分
【場所】高槻キャンパス　Ｅ棟情報メディアホール
【講師】ノンフィクション作家　城島　充氏

システム理工学部／環境都市工学部／化学生命工学部
新入生に期待する　―大学生活を始めるにあたって―

理工系三学部の前身にあたる工学部は「人間性の育成と活力・創造性あふれる技術者の養成」を教育理念とし、五十年の長きにわたって有能な人材を輩出してきた。この理念を継承しながら更なる発展をめざし、工学部十一学科を改編し、昨年四月新たに理工系三学部がスタートした。この学部改革により、コース制の導入、理学系（数学・物理学）の学科新設、環境・生命系の学問領域の拡充など多彩な理工学領域（三学部九学科二十コース）を確立した。今後はこの充実した教育体制を基礎とし、専門的な知識・技術を蓄積していく体系的な教育プログラムのなかで優れた研究者・技術者を輩出していきたい。

新三学部の二期生にあたる新入生のみなさんに、関西大学での学びを通じて大きく育ち、羽ばたいて行ってもらうためにパネルディスカッションを企画した。各学部の若手教員や大学院生、卒業生のアドバイスや議論が、大学生活を始めるにあたっての一助となることを期待したい。

【日時】四月一日（火）学部案内終了後
【場所】千里山キャンパス　中央体育館
【パネリスト】
倉田　純一　システム理工学部准教授
橋寺　知子　環境都市工学部准教授
青田　浩幸　化学生命工学部准教授
番匠　大輔さん　工学研究科博士課程後期課程在学
西野　奈那さん　工学研究科博士課程後期課程在学
郷上　佳孝さん　工学研究科博士課程後期課程在学

リードセンターで学ぶ
Extension Head Center
可能性を広げるためぜひ活用を

エクステンション・リードセンターでは、一年次生から専門的な資格取得や国家試験合格の実力を養成するための講座を開いています。将来の可能性を最大限に広げるため、ぜひ活用してください。

レベルに合ったクラスで受講できる英語講座

多くの企業で昇進要件とされるＴＯＥＩＣ®と留学に必須のＴＯＥＦＬ®の各テスト対策コースで、実力に合ったクラスを受講し、真の英語力を身につけてください。

レベルや目的に応じた情報処理講座

Ｅｘｃｅｌのスキルを習得することができるＥｘｃｅｌパーフェクトコースと、パソコン検定４級・３級コースを開講しています。

めざす職種ごとに受講できる公務員講座

「公務員講座」では行政職公務員をめざす人の「国Ⅱ・地方上級対策講座」「国Ⅰ対策講座」「技術系公務員をめざす人の「技術系対策講座」「土木職対策講座」「心理職公務員をめざす人の「心理職対策講座」の他に、すべての公務員で出題される教養科目の対策として「教養対策講座」を開講しています。各自のめざす職種に合った講座を受講してください。

公認会計士・税理士受験を簿記検定講座から支援

「公認会計士入門講座」では必須科目の基礎を学び、難関突破に向けスタートを切ります。

「税理士講座」では、税理士試験の必須科目である簿記論と財務諸表論を設け、早期合格をめざします。また、これらの難関資格をめざす足がかりとして「簿記検定講座」を３級対策コースから開講しています。

司法講座で法曹をめざす

「司法講座」では、法科大学院入試対策講座、司法書士対策講座を開講。法律家に必要な知識の習得を初歩から学ぶ知識習得型の講座から、学んだ知識を実践的に活用する答練型の講座まで幅広く展開しています。

知的財産のエキスパート、弁理士をめざす

「弁理士講座」では、基本的な知識の習得から短答式対策・論文の書き方の基礎を一通り学び、弁理士試験合格をめざします。

高い合格率を誇る資格試験対策講座

「旅行」「通関士」「宅建」「社労士」「色彩」「ＦＰ（ＡＦＰ＋２級ＦＰ技能士）」などの各種資格試験対策講座を開講しています。

マスコミ就職もサポート

「マスコミ試験対策講座」では、「新聞・ジャーナリスト」「出版・広告」「放送」の業界別クラスにより、マスコミ業界志望者に必要な能力を養成しています。

四月一日（火）は、新関西大学会館南棟一階インフォメーション・ロビーで受講申込の受付を行います。また、リードセンター千里山キャンパス事務室（社会学部学舎内）、高槻キャンパスオフィス、リードセンター事務室（天六キャンパス）では随時受講申込を受け付けています。詳細は講座案内（パンフレット）を参照してください。

関大通信 第352号
平成20年（2008年）４月１日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は５月16日発行の予定です

がんばる!! 関大生のタイムスケジュール

―これが私の過ごし方―

岩佐　早希さん（社会部３年次生）

授業、クラブ、アルバイト…いつも予定がいっぱい。どれもやりたいことだから睡眠時間４時間でも平気です。

キャンパスライフ

「いい声してるね」と友人に誉められたことがきっかけで、放送やマスコミに興味を持ちました。高校では、放送部に所属して、校内放送はもちろん、テレビドキュメントやラジオドキュメントを制作して、全国大会で入賞したこともあります。自分たちでアイデアを出して、テーマを決めて、実際の取材では、ビデオテープ30本、ＭＤ100枚もの記録を取ることも。

その延長で、大学は社会学部マス・コミュニケーション学専攻に進学しました。いろいろな勉強をして知識を得ることで、“あこがれ”として一面的な見方をしていた「マスコミ」に対して、いろいろな方向から見る観点を養うことができます。

課外活動

課外活動では、関西大学放送研究会（KBC）に所属しています。お昼休みの放送番組を作っているのですが、担当の水曜日は、リハーサルや生放送で大忙しです。今年は、幹部として、渉外部長も務めているため、ますますがんばらないといけません。

将来の夢

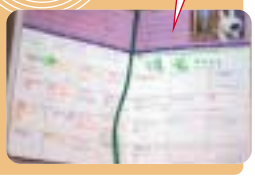
将来は、アナウンサーなど放送関係の仕事に就きたいと考えています。マスコミは、就職活動が早く始まるので、今から本格的にがんばらないといけません。まず、手始めに秘書検定や英語検定など、２級以上の資格を２つとることが目標です。

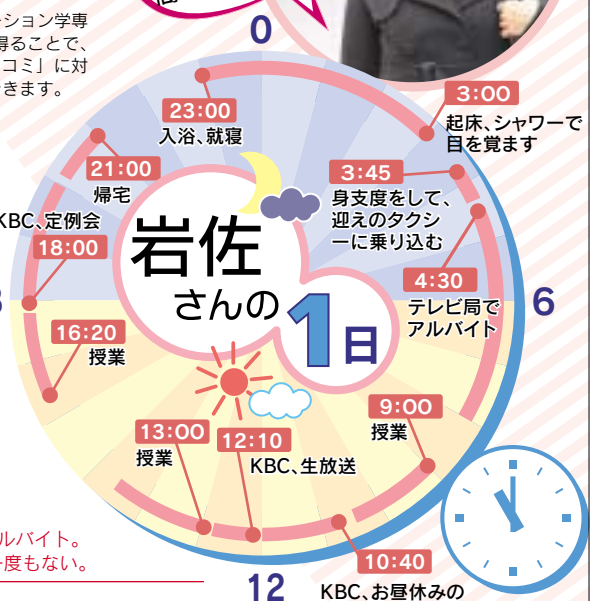
アルバイト

課外活動や就職活動など忙しい毎日ですが、去年の春から始めているテレビ局でのアルバイトは、卒業まで続けるつもりです。

持ち物拝見

予定でいっぱいのスケジュール帳





２年次生の５月から始めたテレビ局のアルバイト。
朝３：00起床にもかかわらず、遅刻は一度もない。

宿谷　昌広さん（法学部３年次生）

司法試験合格は５合目。同じ目標を持つ仲間がいれば、がんばれる!!

キャンパスライフ

法曹をめざしたのは、中学生のとき、弁護士の親戚から聞いた話がきっかけでした。寝る時間もないほど、忙しい仕事だけれど、自分の専門的な知識を使って人を助けることができる魅力的な職業だと聞かされ漠然とめざすようになりました。

大学生になって、勉強の仕方やポイントを知るために、大学の授業と並行して、エクステンション・リードセンターの司法講座を受講しています。早い段階で法律の基本的な科目を体系的に学べたことはもちろん、同志といえる友人を得ることができました。また、チューター制度が充実していて、受験生と近い視点を持った先輩たちの指導を受けることができるのも魅力です。

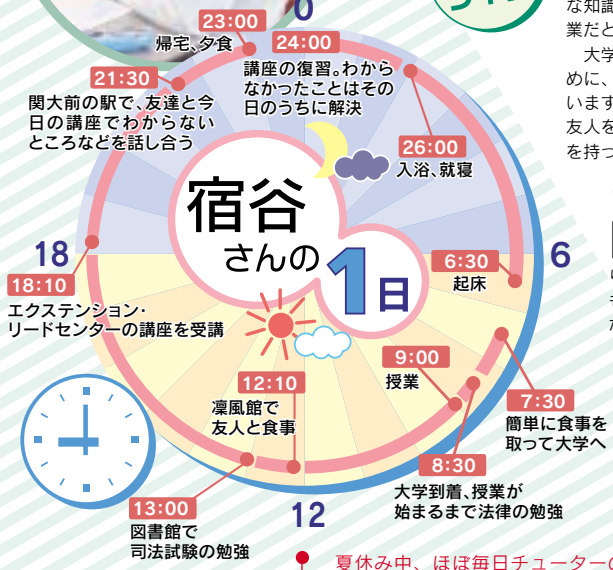
くじけそうな時も

同じ法曹をめざす友人は、勉強の悩みを共有し、お互いの状況を理解しあえる心の支えです。ちょっとさぼり気味の日々を過ごしているときも、友人のがんばりを見て持ち直したり、先輩や親、リードセンターのスタッフからも日々気に掛けてもらい、声を掛けてもらえるので、一人ぼっちじゃないということを実感して、また、がんばることができます。

将来の夢

司法試験は、すごく難しい試験ですが、到達点ではないと思います。エベレスト登山で言えば、5合目ぐらい。法律知識という装備をしっかり準備して、その先に続く、司法修習、実務という山道を登っていくイメージです。

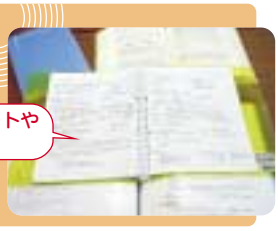
将来は、法曹の中でも弁護士をめざしています。いつか独立して、自分の事務所を構えたいですね。



夏休み中、ほぼ毎日チューターの指導を受けていたときは、
帰宅後の復習を朝の４：００近くまで行っていた。

持ち物拝見

手作りノートや参考書



▶編集後記◀

花粉症の者にとって大変辛い季節である。この二十年間で花粉症患者が急増した理由として、「過剰なスギ植林やイネ科植物の道路植栽」、「環境や食生活の変化による体質変化と環境適応能力の低下」、「大気汚染やストレスによるアレルギー症状」などさまざまな要因が指摘されている。

急速に発展し過ぎた現代社会にとって、根本的な解決を迫られる問題であると思う。ただ個人的には、これから始まる新学期の講義で受講生に迷惑を掛けないことが最重要課題であり、対症療法を繰り返す毎日が続いている。

今月号は、新年度の各種案内と新入生向けの特集記事を掲載している。新入生のみなさんが一日も早く関西大学に慣れて有意義な学生生活を送ることを願っている。

（林　武文）